

「使い方ガイド」(P.3)では本機の設定や外部機器との接続、困ったときの対応などについて、さらに詳しい説明を掲載しています。
「使い方ガイド」トップページから **機能別** で調べる ▶ **その他** の順にお進みください。

本機の情報を確認する

製造番号・バージョン・更新期限などを確認する

本機の実載器ID・製造番号や、各種ソフトウェアのバージョンを確認できます。

1 システム情報・設定メニューから、バージョン情報を選ぶ

2 各種情報を確認する

- 車載器ID
- 製造番号
- ソフトバージョン
- 地図データバージョン
 - ・ 道路地図：道路地図データ
 - ・ 画像：案内画像データ
 - ・ 音声：音声案内データ
 - ・ 索引：索引データ (地点検索)
 - ・ 市街図：市街地図データ
- 地図更新期限
- Gracenote データベース
- ドライブレコーダーバージョン

端末情報を確認する

本機の端末情報を確認できます。

1 システム情報・設定メニューから、端末情報を選ぶ

2 端末情報を確認する

- 端末の状態
 - ・ IPアドレス
 - ・ Wi-Fi MACアドレス
 - ・ 稼働時間
 - ・ 位置情報
- 法的情報：各種ライセンス情報など
- モデル番号：本機の機種品番
- Android バージョン
- カーネルバージョン
- ビルド番号

メンテナンス情報を設定する

設定に応じて、車のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などが来たことをお知らせします。

1 システム情報・設定メニューから、メンテナンス通知設定を選ぶ

2 メンテナンス通知設定画面から、お知らせする項目のONを選ぶ [お買い上げ時の設定：OFF]

- 以下の項目を設定できます。
 - ・ 車検
 - ・ 定期点検
 - ・ エンジンオイル交換
 - ・ エンジンオイルフィルター交換
 - ・ エアエレメント交換
 - ・ エアコンフィルター交換
 - ・ 発炎筒交換
 - ・ パンク修理剤交換
 - ・ カスタマイズ1～カスタマイズ3
- **カスタマイズ1～カスタマイズ3**を選び項目名を変更すると、お知らせする項目を追加できます。項目名は全角12文字 (半角24文字) まで設定できます。

3 通知条件を設定する

- **日付で設定**：指定した年月日にあわせて通知
- **距離で設定**：指定した走行距離に合わせて通知

4 上下方向にフリックして設定する

5 決定を選ぶ

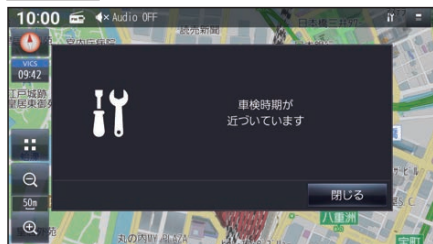
- **日付で設定** で設定した場合は、設定日が表示されます。
- **距離で設定** で設定した場合は、設定した距離までの残距離/設定した距離が表示されます。

メンテナンス情報のお知らせについて

設定日当日以降／設定した距離を走行後以降、本機を起動したときにそれぞれお知らせします。

また、設定日の1か月以内になった場合／設定した距離まで500 km以内になった場合は、本機を起動したときにそれぞれ事前お知らせをします。

例：車検



また、ステータスバーにアイコンが表示されます。(P.18)

お知らせ

- メンテナンス情報の事前お知らせは、設定条件を満たすと1度だけ表示されます。
- メンテナンス情報のお知らせは、設定条件を満たすと、本機を起動するたびに表示されます。表示しないようにするには、お知らせを解除してください。(P.56)
- お知らせするメンテナンス時期と実際にメンテナンスが必要な時期は、車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離が異なる場合があります。

メンテナンス情報のお知らせを解除するには

メンテナンス情報のお知らせを表示しないようにするには、項目を対象外にするか、通知条件を再設定します。

項目を対象外に設定する

- 1 システム情報・設定メニューから、**メンテナンス通知設定**を選ぶ
- 2 メンテナンス通知設定画面から、解除したい項目の**OFF**を選ぶ
 - 選んだ項目が解除されます。
- 3 通知条件を消去する場合は**はい**、通知条件を残す場合は**いいえ**を選ぶ
 - **いいえ**を選んだ場合、再度項目の**ON**を選ぶと保存された通知条件が設定されます。

通知条件を再設定する

- 1 システム情報・設定メニューから、**メンテナンス通知設定**を選ぶ
- 2 メンテナンス通知設定画面から、再設定を行う項目の通知条件を選ぶ
- 3 通知条件を設定する
 - **日付で設定**：指定した年月日に合わせて通知
 - **距離で設定**：指定した走行距離に合わせて通知
 - **距離で設定**を選んだ場合、走行距離は設定した時点から測定されます。
- 4 上下方向にフリックして設定する
- 5 **決定**を選ぶ

本機のデータを更新する

有償地図更新のご案内

本機は、年度更新地図（有料）で地図の更新ができます。
年度更新地図の発売時期・販売方法・更新内容などについては、決定しだい、下記サイトにてご案内します。

<https://panasonic.jp/navi/>



無料地図更新サービス CN-HA02D CN-HA02WD

準備

- 地図更新アプリを専用サイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。
- 無料地図更新のご利用には、ユーザー登録が必要となります。ユーザー登録は地図更新アプリから行ってください。
- SD規格に準拠した16 GB以上のSDメモリーカードをご用意ください。

■ 地図更新アプリ

- 対応OS: Windows 8.1/Windows 10
※ 地図更新アプリを使用するには、.NET Framework 4.8のインストールが必要です。
- ダウンロードURL: <https://panasonic.jp/car/navi/freemap/>
- インターネットを利用できる環境などが必要です。詳しくは、当社サイトをご覧ください。（通信費用はお客様のご負担となります。スマートフォンでのご利用はできません。）

有効期間と更新範囲

【利用可能期間】本製品の使用開始日から最大3年間

【データ提供期間】2026年12月15日まで（予定）

※ 使用開始日の判定は自動的に行われ、無料地図更新期限が設定されます。

（無料地図更新期限を確認するには（P.55））

※ 使用開始日から3年未満でも、データ提供期限にて終了いたします。

● 全地図更新：期間中1回可能

・全地図更新データは年1回更新（約10 GB）

- データのサイズは定期的に更新している場合の目安です。更新の頻度などにより異なります。

※ 更新データの配信予定時期については、Webサイトをご覧ください。

（配信は延期・中止される場合があります。）

■ 更新内容

- 道路地図（縮尺50 m ～ 250 km） ※ 細街路含む。
- 案内画像（リアル3D表示・ジャンクションビュー・方面看板など）
- 音声案内
- 地点検索データ（施設情報・電話番号情報など）
- 逆走検知データ
- 市街地図

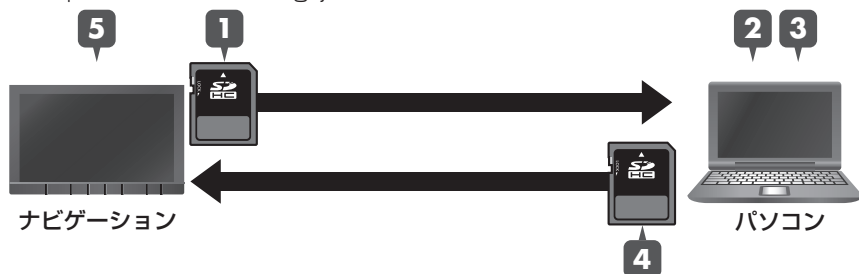
パソコンを使用してソフトウェア・地図を更新する

準備

- SDメモリーカードはパソコンで初期化したものを使用してください。初期化にはSD File System Specification 準拠のSDメモリーカードフォーマッターを使用してください。

SDメモリーカードフォーマッターダウンロードWebサイト

<https://www.sdcard.org/ja/downloads-2/formatter-2/>



- 1 ナビゲーションにSDメモリーカードを挿入し、システム情報・設定メニューから、**ソフトウェア・地図 更新** ▶ **更新用SDカード作成** ▶ **はい**を選ぶ
●更新用SDメモリーカードが作成されます。
- 2 更新用SDメモリーカードをナビゲーションから取り出し、パソコンに挿入する
- 3 地図更新アプリを起動し、更新データをダウンロードして更新用SDメモリーカードに保存する
- 4 更新用SDメモリーカードをパソコンから取り出し、ナビゲーションに挿入する
●ステータスバーにが表示されます。
- 5 システム情報・設定メニューから、**ソフトウェア・地図 更新** ▶ **更新** ▶ **はい** ▶ **更新する**を選ぶ
●データの更新を開始します。(更新中に本機が再起動する場合があります。)
●更新に要する時間は、更新データの容量により異なります。
●更新中は、本機を操作できません。

お願い

- 更新中に他の操作をする、車のエンジンを切るなどはしないでください。故障の原因となります。
- エンジンを止めたまま使用し続けると、車のバッテリーが消耗します。必ずエンジンをかけてご使用ください。
- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所(周囲が囲まれた車庫など)で長時間使用しないでください。

ETC2.0車載器と接続して使う

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

ETC2.0車載器を接続すると、VICSの情報提供サービスを受けたり、ETCとして有料道路で料金の自動支払いや通行ができます。

機種によっては、ETC2.0車載器側の機能が一部制限されます。

- ETC2.0車載器の一部のボタンは操作できません。
- ETC2.0車載器からの音声案内は行いません。
ナビゲーションから音声または画面表示で案内されます。

お知らせ

- 機種によっては、ETC2.0車載器から音声案内される場合があります。
 - ETCカードを入れたままエンジンをかけた(ACCをONにした)とき
 - ETCカードを入れたままエンジンを止めた(ACCをOFFにした)とき

信号情報活用運転支援システム(TSPS)による情報提供サービス

道路に設置された光ビーコンから取得する信号情報および車の走行情報を用いて、信号交差点を円滑に通行するための情報を表示と音声で案内します。

表示例

状況	表示	音声
前方の信号交差点の案内ができるとき		なし
現行速度で走行すれば、前方の信号機を通過できると予測したとき(信号通過支援)*1		なし
現行速度で走行すれば、前方の信号機が赤になると予測したとき(赤信号減速支援)*1		この先、信号機があります。ご注意ください。
停車中、前方の信号機が青になるときの待つとき(発進遅れ防止支援)		なし

状況	表示	音声
停車中、前方の信号機が、あと5秒で青に変わるとき(発進遅れ防止支援)		まもなく青信号です。
前方の信号交差点の案内ができないとき		なし

*1 通過時の灯色の予測が変わったとき、または交差点を通過するときは「支援あり」の表示に変わります。

お知らせ

- 各支援の設定について、詳しくは(P.63)をご覧ください。
- 本機能はあくまでも補助機能です。実際の信号機の点灯状況と異なる場合は信号機の表示に従ってください。案内を過信せず、常に実際の道路状況や道路標識、前方の信号表示を優先して運転してください。
- 常に前方の交差点を直進方向に走行すると想定して案内を行います。矢印信号のある交差点では、点灯状態と異なる案内をする場合があります。
- 受信時点の情報のため、その後の状況の変化により、実際の信号機の灯色と合わない場合があります。
- 支援ありアイコン表示のまま、案内を行わない場合があります。
 - 提供対象外の信号機があるか、地図に無い信号機があるとき
 - 信号機の色が変わる直前のとき
 - 対象となる交差点までの距離が短いとき
 - 高速走行しているときや低速走行しているとき
- 支援なしアイコンが表示される場合があります。
 - 信号機のサイクルに応じた有効時間があります。有効時間が経過すると案内ができなくなります。
 - 信号機の制御方式(押しボタン式、感应式など)により、信号情報が不確定なため、案内しない交差点があります。
- ご利用には、TSPSに対応したETC2.0車載器が必要です。
- すべての光ビーコンでTSPSの情報を提供しているわけではありません。対象路線情報についてはVICSセンターのWebサイト(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

リアビューカメラと組み合わせる

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

リアビューカメラに切り換える

カメラの映像は、視野・距離感が目視時とは異なります。車両を移動させる際には、必ず目視でも確認してください。

準備

- カメラ設定をしてください。

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

- カメラの映像が表示されます。



お知らせ

- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、カメラの映像は表示されません。
- カメラ映像が見にくいときは、カメラの映像を表示して画質を調整してください。
- ドライブレコーダー(CA-DR03HTD)を接続している場合、ドライブレコーダーのリアカメラの映像を表示します。

リアビューカメラの設定をする

リアビューカメラをご利用になる前に、下記設定を行ってください。

1 システム情報・設定メニューからカメラ設定を選ぶ

2 カメラ割込みONを選ぶ

- カメラ設定がONになります。
[お買い上げ時の設定：OFF]

3 カメラ種別からリアビューカメラの種類を選ぶ

[お買い上げ時の設定：汎用カメラ]

- ドライブレコーダー(CA-DR03HTD)を接続している場合、ドライブレコーダーを選ぶと、ドライブレコーダーのリアカメラの映像を表示します。

4 ガイド線表示のONを選ぶ

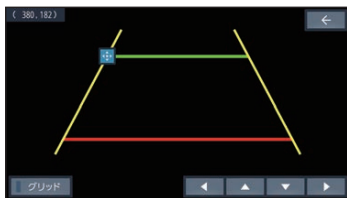
[お買い上げ時の設定：ON]

5 ガイド線表示の調整を選ぶ

- カメラの映像が表示されない場合は、手順3でカメラ種別を変更してください。

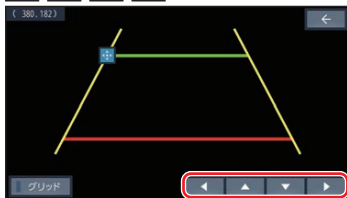
6 ガイドラインを調整する

1 ガイドラインの調整したい点をタッチする



- タッチした場所が  で表示されます。
- [MAP] を2秒以上押すと、画質調整画面が表示されます。

2 ◀ ▶ ▲ ▼ で位置を調整する



- **グリッド**
調整の目安となるグリッドの表示/非表示を切り換えます。

3 上記手順6-1～6-2を繰り返して、4点を調整する



4 調整が完了したら、←を選ぶ

お知らせ

- ドライブレコーダー (CA-DR03HTD) のリアカメラ映像を表示する場合は、リヤカメラ録画を「する」に設定してください。

その他の外部機器と接続して使う

ドライブレコーダーなどを本機と接続し、操作することができます。

接続する各機器の説明書をよくお読みください。

ドライブレコーダーと接続する

別売のドライブレコーダーを本機と接続して、運転の状況を記録できます。録画した動画・撮影した静止画は、本機で確認できます。

ドライブレコーダーのリアカメラで後方確認する

- ドライブレコーダー (CA-DR03HTD) を接続している場合のみ本機能が使えます。

準備

- 「ダイレクトボタン設定」を「カメラモニター」に設定してください。(P.65)

現在地画面で を選ぶ

- ナビ画面がリアカメラの映像に切り換わります。



解除するには、画面をタッチしてください。

利用に応じた設定に変える

地図表示に関する設定

1 ナビ情報・設定メニューから**ナビ設定**を選ぶ

2 **表示設定**を選び、各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ランドマーク設定	地図画面に表示するランドマークを選択できます。
50m市街地図表示	「ON」： 50 m縮尺のとき、市街地図で表示する 「OFF」： 50 m縮尺のとき、広域地図で表示する
走行軌跡を表示	「ON」： 走行軌跡を表示する 「OFF」： 走行軌跡を表示しない
走行軌跡の記録を消去する	走行軌跡の記録を消去する ▶ はい ：走行軌跡の記録を消去する
目的地方向を表示 (P.20)	「ON」： 目的地方向直線を表示する 「OFF」： 目的地方向直線を表示しない
ゾーン30エリアを表示	「ON」： ゾーン30をエリア表示する 「OFF」： ゾーン30をエリア表示しない
自車位置修正	自車位置を修正できます。(通常は、この操作は必要ありません)

ルート探索に関する設定

1 ナビ情報・設定メニューから**ナビ設定**を選ぶ

2 **探索設定**を選び、各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
新旧ルート比較画面を表示	「ON」： VICS自動再探索でルートが再探索されたとき、変更前のルートも通行可能であれば、新旧ルート比較画面を表示する 「OFF」： 新旧ルート比較画面を表示しない
新旧ルート自動選択	「新ルート」： 新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、新ルートで案内する 「元ルート」： 新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、旧ルートのままとする
到着予想時刻の計算方法	「自動」： VICS情報や統計交通情報を考慮して、自動的に到着予想時刻を計算する 「手動」： 一般道・有料道路の平均速度を手動で入力し、その数値をもとに到着予想時刻を算出する 「手動」を選んだ場合、+/-で設定する ● 一般道：5 km/h～ 50 km/h ～80 km/h ● 有料道路：5 km/h～ 80 km/h ～100 km/h ● 「自動」「手動」を切り換えても、手動で入力した数値は保持されます。 ● 「自動」を選んでいる場合、手動で入力した数値は無視されます。
ルート学習結果の初期化	ルート学習結果の初期化 ▶ はい ▶ はい ：本機のルート学習機能を初期化する

ルート案内に関する設定

1 ナビ情報・設定メニューから**ナビ設定**を選ぶ

2 **案内設定**を選び、各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
案内拡大図の表示	「ON」： 案内拡大図を表示する 「OFF」： 案内拡大図を表示しない
ETCレーンの表示	「ON」： ルート案内中にETCレーン案内を表示する 「OFF」： ETCレーン案内を表示しない
方 面 看 板 の 表 示 (P.17)	「ON」： 方面看板を表示する 「OFF」： 方面看板を表示しない
ハイウェイモードの表示	「ON」： ハイウェイマップを表示する 「OFF」： ハイウェイマップを表示しない
Audio画面中の案内割込み	「ON」： オーディオ画面を表示中に割り込んで現在地画面に切り換えて案内する(ルート案内が完了すると、オーディオ画面に戻ります) 「OFF」： オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内しない
逆 走 注 意 ア ラ ム (P.22、P.23)	「ON」： 逆走検知警告、および逆走注意アラームを案内する 「OFF」： 逆走検知警告、および逆走注意アラームを案内しない
VICS案内	「ON」： VICSの渋滞/規制情報がある区間に近づくと、音声で案内する 「OFF」： VICSの渋滞/規制情報がある区間に近づいても、音声で案内しない

■ 信号情報活用運転支援設定*1

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
光ビーコンアップリンク	「ON」： 本機で収集した情報を光ビーコンに送信し、信号情報を受信する 「OFF」： 本機で収集した情報を光ビーコンに送信しない(信号情報を受信しない)
赤 信 号 減 速 支 援 (P.59)*2	「ON」： 前方の信号機が赤信号に変わると予測したことをアイコンで表示する 「OFF」： アイコンを表示しない
信 号 通 過 支 援 (P.59)*2	「ON」： 前方の信号機を青で通過できると予測したことをアイコンで表示する 「OFF」： アイコンを表示しない
発 進 遅 れ 防 止 支 援 (P.59)*2	「ON」： 前方の信号機が青に変わるまでの残り時間をアイコンで表示する 「OFF」： アイコンを表示しない
支 援 音 声 ガ イ ド (P.59)*2	「ON」： 赤信号減速支援、発進遅れ防止支援を音声で案内する 「OFF」： 音声で案内しない

*1 高度化光ビーコン対応のETC2.0車載器キット(別売品)が必要です。

*2 「光ビーコンアップリンク」が「ON」の場合のみ、設定できます。

渋滞情報案内(VICS)に関する設定

1 ナビ情報・設定メニューから**ナビ設定**を選ぶ

2 **渋滞設定**を選び、各項目を設定する

■ FM VICS周波数

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
受信周波数	現在の周波数がFM多重放送の放送局の場合、放送局名を表示する
周波数の選局方法	「自動選局」： 自車位置に応じて、FM多重放送を受信する放送局を自動的に切り換える 「手動選局」： FM多重放送を受信する周波数を手動で設定する
手動選局	[-] [+] ： 周波数を設定する ※周波数の選局方法が「手動選局」のときのみ設定できます。
エリア選局	FM VICSを受信したいエリア(放送局)を選ぶ ※周波数の選局方法が「手動選局」のときのみ設定できます。

■ ビーコン割込み設定*¹

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ビーコン受信音	「ON」： 情報を受信すると、受信音を鳴らす 「OFF」： 情報を受信しても、受信音を鳴らさない
ビーコン割込み	「ON」： 情報を受信すると、自動的に表示される 「OFF」： 情報が自動的に表示されない

■ ETC2.0割込み設定*²

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ETC2.0受信音	「ON」： 一般情報を受信すると、受信音を鳴らす 「OFF」： 一般情報を受信しても、受信音を鳴らさない
ETC2.0割込み	「ON」： 一般情報を受信すると、自動的に表示される 「OFF」： 一般情報は自動的に表示されない
ETC2.0自動音声再生	「ON」： 情報を受信すると、自動的に音声案内される 「OFF」： 情報は自動的に音声案内されない
ETC2.0アップリンク	「ON」： 本機で収集した情報を、ITSスポットに自動的に送信する 「OFF」： 本機で収集した情報を、ITSスポットに送信しない

* 1 高度化光ビーコン対応のETC2.0車載器キット(別売品)が必要です。

* 2 ETC2.0車載器キット(別売品)が必要です。

ETC情報の案内に関する設定

1 ナビ情報・設定メニューから**ナビ設定**を選ぶ

2 **ETCの音声案内設定**を選び、各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ETC 音声案内	「ON」： 利用料金などを、本機から音声で案内する 「OFF」： ETC 音声案内しない ※「OFF」に設定されている場合も、ETCカード有効期限の案内は行います。
カード入れ忘れ案内	「ON」： 本機の電源がONになったときにETCカードが挿入されていない場合、本機から音声で案内する* ¹ 「OFF」： カード入れ忘れ案内しない
カード抜き忘れ案内	「ON」： 本機の電源がOFFになったときにETCカードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内する* ¹ 「OFF」： カード抜き忘れ案内しない

* 1 ETC 音声案内を「OFF」に設定しても案内します。

本機のシステムに関する設定・確認

システム情報・設定メニューから、各項目を設定・確認する

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
操作音	「ON」： 操作音を鳴らす 「OFF」： 操作音を鳴らさない
時計表示	「ON」： 画面に時計を表示する 「OFF」： 画面に時計を表示しない ※本機はGPSアンテナで受信した時刻を表示しているため、テレビ番組の時刻表示とは異なる時刻が表示される場合があります。

■ 案内音声設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先	「ON」： ナビゲーションの音声案内中に、 ☐ ☒ で案内音量を調整できる 「OFF」： ナビゲーションの音声案内中に、 ☐ ☒ で案内音量を調整できない
案内音量の車速連動	「ON」： ナビ案内音量を車速連動する（走行速度によって自動的に音量を上げる） 「OFF」： ナビ案内音量を車速連動しない
案内出力スピーカー	「左前」： 案内音声を左のフロントスピーカーから出力する 「右前」： 案内音声を右のフロントスピーカーから出力する
案内時のAudio音量消音	「ON」： 音声案内時にオーディオ音声を消音する 「OFF」： 音声案内時にオーディオ音声を消音しない ※「OFF」に設定されている場合も、音声案内時はオーディオの音量が下がります。

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
音量設定 (P.12)	ナビゲーションの案内音、ハンズフリー着信音などを調整することができます。
画質調整	画面の明るさやコントラストなどを調整することができます。
画面OFF	画面を一時的に消すことができます。
トップメニューカスタマイズ (P.15)	トップメニューを編集することができます。

■ セキュリティ設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
セキュリティ設定	「ON」： セキュリティ機能を使用する 「OFF」： セキュリティ機能を使用しない
盗難多発地点 表示案内	「ON」： 盗難多発地点を地図に表示する 「OFF」： 盗難多発地点を地図に表示しない
市街地図での盗難多発地点表示案内	「ON」： 盗難多発地点を市街地図に表示する 「OFF」： 盗難多発地点を市街地図に表示しない ※盗難多発地点 表示案内が「ON」のときのみ設定できます。

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
車種設定 (P.13)	使用しません。(販売店が設定します。)
メンテナンス通知設定 (P.55)	車両メンテナンス時期の通知について設定できます。
カメラ設定 (P.60)	リアビューカメラの設定ができます。
ドライブレコーダー設定	ドライブレコーダーの設定ができます。
ステアリングスイッチ設定 (P.29)	ステアリングスイッチに機能を登録することができます。
ダイレクトボタン設定 (P.61)	「ドライブレコーダー動画録画」： 動画録画タッチキーを表示する 「ドライブレコーダー静止画撮影」： 静止画撮影タッチキーを表示する 「カメラモニター」*1： ドライブレコーダーのリアカメラタッチキーを表示する 「表示しない」： ダイレクトボタンを表示しない
休憩案内	「ON」： 休憩を促す音声案内を行う 「OFF」： 休憩案内しない
バージョン情報 (P.55)	車載器ID、製造番号、ソフト・地図・Gracenoteデータベースのバージョンなどを確認できます。
車両信号情報	車両信号情報を確認できます。
拡張ユニット情報	iPod、USB、ETC2.0車載器、ドライブレコーダーの接続状態を確認できます。
ソフトウェア・地図 更新 (P.58)	本機のソフトウェアや地図データの更新ができます。

項 目	設定内容
Gracenote データベース更新	Gracenote データベースを更新できます。
ナビヘルプ	ナビヘルプダウンロード先の二次元コードを表示します。
初期化 (P.66)	本機の各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。
端末情報 (P.55)	本機の端末情報を確認できます。
自動ログ送信設定	「ON」: 自動ログ送信機能を有効にする 「OFF」: 自動ログ送信機能を無効にする ● Wi-Fi 接続時にログの送信が行われます。 ※ 自動ログ送信機能を有効にしても、Wi-Fi 接続時に表示される情報提供のお願いメッセージで「許可」を選ばない限り、ログの送信は行いません。 ※ ログの送信には通信費用がかかります。

* 1 ドライブレコーダー (CA-DR03HTD) を接続の場合のみ表示されます。

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 システム情報・設定メニューから「初期化」を選ぶ

2 初期化する項目を選ぶ

3 はい ▶ はい を選ぶ

- 選んだ項目が初期化されます。
※「キーボード学習結果の初期化」を選んだ場合は、1 回目の「はい」で初期化されます。
- 初期化 (削除) した項目は、もとに戻せません。
誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。
- TV の初期化を行った場合は、車のエンジンを止め (ACC OFF)、ボタン照明が消えて約 10 秒経過してから、再度車のエンジンをかけてください (ACC ON)。

項 目	設定内容
SD カードの初期化	SD メモリーカードを初期化する (NTFS ファイルシステムは初期化できません) ● 録音した音楽データも削除されます。
TV の初期化	TV で設定した内容を初期化する
キーボード学習結果の初期化	キーボードの学習機能を初期化する
出荷状態に戻す	本機のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻す ● オーディオが OFF に切り換わります。 ● ドライブレコーダーの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

お願い

- 初期化中は他の操作 (オーディオを切り換えるなど) をしないでください。
故障の原因となります。

お知らせ

- SD メモリーカードから録音データのみを消去する場合は、MEMORY MUSIC 再生画面 (P.42) から **I ▶ 録音データ初期化** を選んでください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報 (登録地の住所や電話番号など)、自宅などの登録情報を必ず削除してください。

- 本機を別の車に載せかえた場合や、タイヤを交換またはローテーションした場合は、システム情報・設定メニューから、**車両信号情報 ▶ センサー学習値初期化** を選んでセンサー学習値を初期化してください。
- バッテリー交換をした際には、下記の設定が初期化されます。
 - ・オーディオ OFF/ON
 - ・AM・FM の周波数
 - ・ディスク・USB/SD (音楽/動画) の再生位置
 - ・CD・DVD・USB・SD・MEMORY MUSIC の再生モード
 - ・テレビの主番組/副番組、マルチチャンネルの設定

よくあるお問い合わせ

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

自車マークが表示されない

- 地図モード画面になっている。
→ [MAP]を押してください。(P.17)

自車位置が正しく表示されない

- ACC OFFの状態です車を移動した。(フェリーボート、駐車場のターンテーブルなど)
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- 立体駐車場などの、GPS信号を受信できない場所を走行した。
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS衛星からの信号の誤差が大きい。
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS信号を妨げる障害物などがないか確認してください。
- **GPSアンテナが、受信しにくい場所に付いていないか確認してください。**(取付説明書)
- 距離、回転、3Dの補正が完了していない。
→ システム情報・設定メニューから、**車両信号情報**を選んで学習レベルを確認してください。学習レベルが1の場合は、しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- **GPSアンテナのコードや、車速信号コード、リバースコードなどが、正しく接続されているか確認してください。**(取付説明書)
- GPSアンテナが、ナビゲーションユニットや別売のETC2.0車載器のアンテナの近くに取り付けられている。
→ **GPSアンテナは、ナビゲーションユニットから20 cm以上、ETC2.0車載器のアンテナユニットから15 cm以上離して取り付けてください。**(取付説明書)
- 本機を別の車に乗せかえた。タイヤをローテーションした。
→ センサー学習値の初期化を行ってください。

縮尺を切り換えたのに、もとの縮尺に戻る

- 地図モード画面で縮尺を切り換えている。
→ 地図モード画面で切り換えた縮尺は、現在地画面に反映されません。
現在地画面で/を選び、縮尺を切り換えてください。

ディスクやSDメモリーカードが正しく読めない

- ディスクやSDメモリーカードが汚れている。
→ 汚れを取り除いてください。
- ディスクを表裏逆に挿入した。
→ 正しい面で挿入しなおしてください。

地図の年度更新の方法について知りたい

- 年度更新地図の発売時期・販売方法については、決定しだい、下記サイトにてご案内します。
<https://panasonic.jp/navi/>

故障かな!?

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源・共通

■ 動作

内 容	ページ
電源が入らない/起動が遅い	
車のエンジンがかかっていない。 ● エンジンをかけて (ACCをONにして) ください。	(P.11)
低温状態または高温状態になっている。 ● 故障ではありません。内部の温度が正常になると、自動的に起動します。(オーディオに関する一部の情報や設定はお買い上げ時の状態に戻ります。)	—
ナビゲーションの電源を切った直後にもう一度起動すると、起動に時間がかかる場合があります。	—
ハイブリッド車などの特定の車種ではナビゲーションの起動に時間がかかる場合があります。	—
電源が落ちる	
バッテリー電圧が低くなっている。 ● バッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が11 V以下の場合、ナビゲーションの電源が落ちる場合があります。	—
● アイドリングストップ車の場合は、アイドリングストップ中のバッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が11 V以下の場合、車両メーカーにお問い合わせください。	—
ディスプレイの上下角度が調整できない	
障害物などに当たっていたり、コードを挟み込んでいないかを確認してください。	—
タッチパネルの反応が悪い/反応しない	
アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	取付説明書
フリック/ドラッグ/ピンチ/2点タッチ/ダブルタップ/2点ドラッグ/回転ドラッグ操作をしている。 ● 画面によっては、上記の操作ができません。	—
指の腹でタッチすると、2点タッチとして誤動作することがあります。必ず、指の先でタッチしてください。	—
爪でタッチすると、反応しない場合があります。必ず、指の先でタッチしてください。	—
指の動きより遅れて反応する場合がありますが、故障ではありません。	—
ステアリングスイッチが正しく動作しない	
ステアリングスイッチ設定が、正しく完了していない。 ● ステアリングスイッチ設定画面で、登録可能なすべてのステアリングスイッチを登録後、 戻る を選んで設定を完了してください。	取付説明書
本機が温くなる	
長時間連続して使用している。 ● 正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
SDメモリーカードを挿入しても本機が認識しない	
● 本機または専用フォーマッター以外でフォーマットしたSDメモリーカードは、本機では認識しない場合があります。SDメモリーカードを本機で初期化するか、専用フォーマッターでフォーマットしてください。	(P.66、P.75)
● SDメモリーカードによっては認識しないものもありますので、別のカードをお試しください。	—

内 容	ページ
ディスクが排出されない	
録音中などの場合、ディスクが排出できない場合があります。 ● 時間をおいて、再度 DISC EJECT を選んでください。	—
本機で再生できないディスクを使用したり、ディスクに汚れ、指紋が付いている場合、ディスクが排出できない場合があります。 ● ▲ を 10 秒以上押してください。	—
ディスクを挿入できない	
すでにディスクが挿入されていて 2 枚目を挿入しようとしている。 ● 挿入されているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。	—
勝手に地図が動き始めたり、映像が再生されたりする	
本機にはデモモードとして、ルート案内のデモ走行や本機に挿入されているディスクの映像を再生する機能があります。 ● ルート案内のデモ走行が動作している場合は、 デモ走行中止 を選んでください。 ● 映像が再生されている場合は、画面をタッチし、 ■ を選んでください。 ● ルート案内のデモ走行、または映像再生の停止後、GPSを受信するかしばらく走行してください。以降はデモモードは動作しません。	— (P.35) —
停車時に「走行中は映りません。」と表示される	
電子パーキングブレーキ搭載車では停車中であっても操作制限がかかる場合があります。 ● お買い上げの販売店にご相談ください。	—

■ 画面／映像

内 容	ページ
映像が暗い／白っぽい／色あいが悪い／色が薄い	
画質調整が適切でない。 ● [MAP] を 2 秒以上押して画質調整画面を表示させ、各項目を調整してください。	—
本機が高温になると、画面の明るさを自動調整したり、画面の表示を停止する場合があります。 ● 本機の温度が下がるまでお待ちください。	—
本機が低温になっている場合、画面が白っぽくなる場合があります。 ● 車の暖房を使用して、室温を上げ、本機の温度が上がるまでお待ちください。	—
画面が曇る	
冷暖房を使用した直後などには、結露のため画面が曇ったり、正しく表示されない場合があります。 ● 結露が解消するまでお待ちください。	—
画面に赤、青または緑の点が表示される	
液晶ディスプレイ特有の現象です。故障ではありません。	—
ディスプレイに何も表示されない／表示されるのが遅い	
本機が低温になっている場合、映像の表示に時間がかかる場合があります。 ● 車の暖房を使用して、室温を上げ、本機の温度が上がるまでお待ちください。	—
一時的に画面を消している。(画面 OFF) ● [AUDIO]/[MENU]/[MAP]/▲ のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	—
電源コード/接続ハーネスの接続をご確認ください。	取付説明書
電源コネクタのヒューズが切れている。 ● お買い上げの販売店またはお近くの「修理相談窓口」にご相談ください。	取付説明書
音声は出るが、映像が出ない	
一時的に画面を消している。(画面 OFF) ● [AUDIO]/[MENU]/[MAP]/▲ のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	—

内 容	ページ
パーキングブレーキをかけていない。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。	—
サイドブレーキコードの接続が外れていないか確認してください。	取付説明書

■ 音声

内 容	ページ
ステレオのとき左右の音が逆になる	
スピーカーコードの接続を確認してください。	取付説明書
左右前後のいずれかの音が出ない	
フェーダー/バランスの設定を確認してください。	—
各コードの接続を確認してください。	取付説明書
音が悪い(音が飛ぶ)	
DVD・CDなどの場合は、ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.74)
iPod・スマートフォン・USBメモリーなどの場合は、延長ケーブルを使用せずに接続してください。	—
本機の取り付けを確認してください。 ●角度を40°以内に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。	取付説明書
雑音が出る	
スマートフォンなどを本機から離してください。	—
アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	取付説明書
オーディオの音量が変わる	
オーディオ情報・設定メニューからオーディオチューンを選び、車速連動音量の補正量を「OFF」にしてください。	—

本体リセット機能について

画面が正しく表示されない、操作しても反応しないなど正常に動作しないときは、いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。
それでも正常に戻らない場合は、**AUDIO**を15秒以上押して本体リセットを行い、再起動させてください。

- セキュリティコードを設定している場合は、本機を再起動するとセキュリティコード入力画面が表示されます。

結露について

冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、本機内部のピックアップレンズやディスクに露(水滴)が生じることがあります。正常な動作をしない場合には、ディスクを取り出して、約1時間ほど放置してください。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「修理相談窓口」にご相談ください。

万一、故障や異常が起ったら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店、またはお近くの「修理相談窓口」に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。

- 故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

テレビ・ラジオの受信について

車で移動して受信するため、家庭用のチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、受信環境や電波状況（電波の強さの変化、障害物、他の電波などの影響）により、最良な受信状態を維持できない場合があります。

- 放送方式（フルセグ/ワンセグなど）や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- 下記のような場所または状況では受信状態が悪くなる場合があります。
 - ・ 放送局から遠い
 - ・ 電波が遮られやすい場所（トンネルの中、山の陰やビルの谷間など）
 - ・ 電車の架線、高圧線、テレビやラジオ放送の送信所、ネオンなどが近くにある
 - ・ 無線用の送信アンテナが近くにある
 - ・ 車の電装品（パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなど）が動作している場合
 - ・ 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンやスマートフォンなど）を車内で使用したり、本機やアンテナおよびアンテナのコードに近づけた場合
- 受信状態が悪くなったときは次のような現象が起こることがありますが、故障ではありません。
 - ・ 映像や音声がかかる（ノイズが発生したり、途切れる）
 - ・ 静止画面や黒画面となり音が出なくなる

お知らせ

- 本機はARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本製品は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できるコンテンツ権利保護専用方式*¹を採用しているため、B-CASカードを付属しておりません。

* 1 コンテンツ権利保護専用方式は、地上デジタル放送のコンテンツ保護専用の方式です。
詳しくは、下記サイトをご覧ください。
一般社団法人地上放送RMP管理センター
<http://www.trmp.or.jp/>

ディスクについて

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。

ディスク	フォーマット				
	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3 * 3	WMA * 3
DVD	○	—	—	—	—
DVD-R/RW * 1	○	○	—	—	—
CD	—	—	○	—	—
CD-R/RW * 2	—	—	○	○	○

* 1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。

* 2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。

* 3 MP3 PRO、MP3i、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。
- 市販のディスクでも、品質状態によって正常に再生できない場合があります。

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止が施された音楽CDは、本機での再生や録音は保証できません。通常のCD再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、そのCDの発売元にお問い合わせください。

DVD-R/RW・CD-R/RWについて

- 使用したライティングソフトやドライブ、またその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- レコーダーで記録したディスクは、その特性・汚れ・指紋などにより、再生できない場合があります。
- 通常のDVD、音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク（CD-Extra、CD-DAとMP3/WMAが混在したディスクなど）は、正常に再生できない場合があります。また、バケットライト方式で書き込まれたディスクは正常に再生できないことがあります。書き込みには、ディスクアットワンスをおすすめします。
- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- DVD-RW、CD-RWは、挿入してから再生が始まるまで、通常のディスクと比べて時間がかかる場合があります。
- MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
- 片面2層のDVD-R、また録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生できない場合があります。

ディスクに記載されているマークについて

■ リージョン番号

- 発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた番号です。
ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。
- 製作者の意図により特定の地域・国で再生不可と認定されているディスクは、再生できない場合があります。
 - 本機のDVDのリージョン番号は、「2」です。
「2」(2を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。



■ 字幕言語数



■ 音声言語数



■ アングル数



■ 画面サイズ(横:縦の比)

映し出される映像のサイズは、画面比率の設定とディスク側の画面サイズによって異なります。

4:3の標準サイズ(4:3)

レターボックス(LB)

16:9のワイドサイズ

画面サイズが標準(4:3)のときは、レターボックスで再生されます。16:9 LB

画面サイズが標準(4:3)のときは、パン&スキャンで再生されます。16:9 PS

再生できないディスク

- 8 cm ディスク*1
- NTSC以外の方式(PAL、SECAM方式など)で記録されたディスク
- ファイナライズされていないDVD-R/RW
- クローズセッションされていないCD-R/RW
- DVD-ROM
- DVD+R
- DVD+RW
- DVDオーディオ
- DVD-RAM
- CD-ROM
- フォトCD
- CD-G
- ビデオCD
- CDV
- SVCD
- SACD
- CD-EXTRA*2
- VSD
- CVD
- DualDisc*3
- DTS-CD
- HD DVD-Video
- HD DVD-R
- HD DVD-RW
- HD DVD-ROM
- HD DVD-RAM
- DIVX Video ディスク など

*1 シングルスリットアダプターも使用できません。無理に挿入しないでください。故障の原因となります。

*2 ファーストセッションが音楽データ(CD-DA)の場合は、再生できます。

*3 ディスクにキズが付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなるおそれがあります。

ディスクの取り扱い

■ 持ちかた

記録面に触れないように持つ



■ ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭く



内側から外側へ拭く

- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

■ 置き場所について

以下の場所にディスクを置かないでください。

- 長時間直射日光の当たるところ(車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接当たるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気に触れるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

使用できないディスクについて

下記のディスクは使用しないでください。本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

ラベルなどを貼り付けたディスク



シールやテープ、のりが付着している



プリンターで作成したラベル



プロテクトフィルム、保護シート



ディスクアクセスサリ(スタビライザーなど)

破損・変形したディスク



そっている



ひびやキズがある・欠けている

透明なディスク



全体が透明



一部が透明

円形以外の特殊な形状のディスク



ハート形



カード型



三角形



バリがある

SDメモリーカード・USBメモリーについて

SDメモリーカードについて

■ 本機で使えるSDメモリーカード

※本書では特にことわりのない限り、下記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と表記しています。ただし、microSDカードと記載している場合は、microSDXCカード/microSDHCカード/microSDカードを指します。miniSDカードと記載している場合は、miniSDカードを指します。

- SDXCメモリーカード(2 TB以下)*¹
- SDHCメモリーカード(32 GB以下)*¹
- SDメモリーカード(2 GB以下)
- microSDXCメモリーカード(2 TB以下)*¹*²
- microSDHCメモリーカード(32 GB以下)*¹*²
- microSDメモリーカード(2 GB以下)*²

●miniSDメモリーカード(2 GB以下)*²

*¹ SD規格準拠カードのみ使用できます。

*² カードをSDメモリーカード挿入口へ挿入するときは、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごとに取り出してください。

■ SDメモリーカードを使用する前に

本機で初期化してください。(P.66)

または、パソコンで「SDフォーマッター」(フォーマットソフトウェア)を使って初期化してから使用してください。SDフォーマッターについては、下記サイトをご覧ください。

http://panasonic.jp/support/sd_w/download/

お知らせ

- 規格に準拠したSDメモリーカードでも、本機では使用できない場合があります。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

USBメモリーについて

■ 本機で使えるUSBメモリー

- USBマストレージ規格準拠
- 容量: 32 GB以下

- ファイルシステム: FAT16、FAT32
- USBコミュニケーションフォーマット: USB2.0
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

お知らせ

- 規格に準拠したUSBメモリーでも、本機では使用できない場合があります。正常に動作しないときは、接続したUSBメモリーを本機から取り外してください。

SDメモリーカード・USBメモリーの取り扱いについて

- 読み書きしているときに以下のことはしないでください。
 - ・SDメモリーカードを取り出す
 - ・USBメモリーを取り出す
 - ・機器の電源を切る
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、SDメモリーカード・USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカード・USBメモリーには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードに貼られているラベルをはがさないでください。
- SDメモリーカードにシールやラベルを重ねて貼り付けしないでください。
- SDメモリーカードは、本機から取り出したら、必ずケースに収納してください。

データ作成時の留意点

音楽データについて

本機は、CD-R/RW、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した音楽データを再生できます。

音楽データの規格について

■ MP3

項目	内容
規格	MEPG-1 Audio Layer3、MPEG-2 Audio Layer3
拡張子	mp3、MP3
ビットレート	● MPEG-1 Audio Layer3 32 kbps/40 kbps/48 kbps/56 kbps/64 kbps/80 kbps/96 kbps/112 kbps/128 kbps/160 kbps/192 kbps/224 kbps/256 kbps/320 kbps/VBR ● MPEG-2 Audio Layer 3 8 kbps/16 kbps/24 kbps/32 kbps/40 kbps/48 kbps/56 kbps/64 kbps/80 kbps/96 kbps/112 kbps/128 kbps/144 kbps/160 kbps/VBR ※ free format bitstream/forbiddenは非対応
ビットレート	● MPEG-1 Audio Layer3 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz ● MPEG-2 Audio Layer3 8 kHz/11.025 kHz/12 kHz/16 kHz/22.05 kHz/24 kHz
サンプリング周波数 チャンネル	2 CH/1 CH (Stereo/Joint Stereo/Dual Channel/Single Channel)
タグ情報	ID3 タグ Ver.1 (Ver.1.0/Ver.1.1)、ID3 タグ Ver.2 (Ver.2.2/Ver.2.3/Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ WMA

項目	内容
規格	Microsoft Windows Media Audio Decoder Ver.8/Ver.9 std/Ver.9 Lossless/Ver.10 pro 2 CH 準拠
拡張子	wma、WMA
ビットレート	CBR : 5 kbps ~ 320 kbps VBR : Peak 384 kbps
サンプリング周波数 チャンネル	8 kHz/11.025 kHz/16 kHz/22.05 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz 2 CH、1 CH(Stereo/Mono)
タグ情報	WMA タグ : タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ AAC

項目	内容
規格	MPEG-4/AAC LC(Low Complexity)、MPEG-2/AAC LC(Low Complexity)、HE-AAC Ver.1、HE-AAC Ver.2、Enhanced Low Delay AAC
拡張子	aac、AAC、m4a、M4A ※ iTunes以外で作成されたファイルは動作保証外 ※ DRM認証つきファイルは対象外
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps/VBR
サンプリング周波数	8 kHz/11.025 kHz/12 kHz/16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz
チャンネル	2 CH、1 CH(Stereo/Mono)
タグ情報	AAC タグ、ID3 タグ Ver.1(Ver.1.0/Ver.1.1)、ID3 タグ Ver.2(Ver.2.2/Ver.2.3/Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ FLAC

項目	内容
規格	FLAC (Free Lossless Audio Codec)
拡張子	flac
量子化ビット	16 bit/24 bit
ビットレート	最大 9 216 kbps
サンプリング周波数	16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz/88.2 kHz/ 96 kHz/176.4 kHz/192 kHz
チャンネル	Stereo/Mono
タグ情報	タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ WAV

項目	内容
規格	RIFF waveform Audio Format
拡張子	wav
量子化ビット	16 bit/24 bit
サンプリング周波数	8 kHz/11.025 kHz/16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/ 48 kHz/88.2 kHz/96 kHz/176.4 kHz/192 kHz

- m3u/MP3i フォーマット/MP3 PRO フォーマット/ディエンファシスには対応していません。
- WMA Voiceには対応していません。
- DRM (デジタル著作権管理) には対応していません。
- 著作権保護された音楽ファイル (SD-Audio 規格など) は再生できません。
- 2チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- ID3 タグバージョン1、バージョン2 が混在する MP3 ファイルの場合、バージョン2 のタグを優先します。
- WAV ファイルは LPCM (整数型) に対応しています。AIFF フォーマット/WAVE64 フォーマット/RF64 フォーマット/ADPCM フォーマット等には対応していません。
- FLAC ファイルは 1 024 から 4 608 のブロックサイズに対応しています。

お知らせ

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるために MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV ファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV ファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。クローズセッションしていないディスクは再生できません。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- 不正なファイル (例えば MP3 以外のファイルに“MP3”の拡張子を付けたファイル) は、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けしないでください。MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV 以外の形式のファイルは動作を保証していません。

再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけられているものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

音楽ファイルの再生について

- ハイレゾ品質で音楽を再生するには本機からスピーカーまですべてハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。
 - 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
 - リストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が想定している順とは異なった順で表示されることがあります。
- ※ 正しい順番で表示するには、ファイルの先頭に“001～254”など番号をつけてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

ジャケット写真について

3 MB以下のJPEG/PNG/BMP形式の画像に対応しています。

他の形式の場合、正常に表示できません。

- 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- 130ピクセル×130ピクセル未満の画像は表示エリアより小さく表示されます。
- 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

動画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した動画データを再生できます。

動画データの規格について

■ コンテナフォーマット

- MP4

項目	内容
拡張子	mp4、m4v
映像コーデック	MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)、H.264/MPEG-4 AVC
音声コーデック	MP3、AAC（規格の詳細は音楽データと同じ（P.76））

- AVI

項目	内容
拡張子	avi
映像コーデック	MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)、H.264/MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC、WMA（規格の詳細は音楽データと同じ（P.76））

● MKV

項目	内容
拡張子	mkv
映像コーデック	MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)、H. 264/MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC（規格の詳細は音楽データと同じ（P.76））

● ASF・WMV

項目	内容
拡張子	asf、wmv
映像コーデック	H.264/MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	WMA（規格の詳細は音楽データと同じ（P.76））

■ 映像コーデック詳細

● H.264/MPEG-4 AVC

項目	内容	
プロファイル/レベル	BaselineProfile/3、MainProfile/3.1	
最大解像度	720 × 480	1 280 × 720
最大ビットレート	10 Mbps	14 Mbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps

● MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)

項目	内容	
プロファイル/レベル	SimpleProfile/5	
最大解像度	720 × 480	720 × 576
最大ビットレート	8 Mbps	8 Mbps
最大フレームレート	30 fps	25 fps

● VC-1

項目	内容		
プロファイル/レベル	AdvancedProfile/2	MainProfile/ Medium	SimpleProfile/ Medium
最大解像度	1 280 × 720	720 × 480	352 × 288
最大ビットレート	20 Mbps	10 Mbps	384 kbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps	15 fps

- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート（VBR）で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなることがあります。
そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 上記の仕様から外れたファイルは、再生できなかったり、音飛びする可能性があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコードソフトなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- 著作権保護された動画ファイル（SD-Video 規格など）は再生できません。

BLUETOOTHについて

■ 使用周波数帯

本機では、BLUETOOTH接続中は、2.4 GHz帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します。）があります。

- BLUETOOTHを使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
- 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」へご相談ください。（P.95）

■ 機器設定（無線局の免許は不要です。）

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

■ 使用可能距離

見通し距離約10 m以内でご使用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

■ 他機器からの影響

- 本機と他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しない、雑音の発生など、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

■ 使用制限

- すべてのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBLUETOOTH対応機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定める認証が必要です。ただし、認証されていても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時は、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。（BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。）
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 用途制限

- 本機のBLUETOOTHの各機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器が下記のプロファイルに対応している必要があります。
 - BLUETOOTH Audio
 - Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
 - Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
 - ハンズフリー通話
 - Hands-Free Profile (HFP)
 - 電話帳・発着信履歴の転送および自動転送
 - Phone Book Access Profile (PBAP)
 - NaviCon®/CarAV remote S
 - Serial Port Profile (SPP)
- BLUETOOTH対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

Wi-Fiについて

- 本機の無線機能の使用周波数帯は2.4 GHz帯です。変調方式としてDS-SS変調方式、OFDM変調方式を採用しています。想定干渉距離は40 m以下です。本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 同じ周波数を使用している他の無線機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
 - 何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。
以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・本機の分解や改造をする
 - ・本機に貼り付けてある製品銘板をはがす
 - 本機は、電気通信事業者(移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ず電気通信事業法の認定を受けた端末設備(ルーター、回線端末装置など)を経由して接続してください。
 - 本機はすべてのWi-Fiテザリング対応スマートフォンとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

- 接続する機器はWi-Fi Alliance®の定める規格に適合し、認証を取得している必要があります。規格に適合していても、接続する機器の特性や仕様によっては接続できない、表示や動作が異なる、などの場合があります。
- 使用する環境(車内および車両周辺の環境)によっては、通信速度が低下するなど通信の状態が不安定になることがあります。
- 障害物(壁や床など)があると、通信の状態が不安定になったり接続できない場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。
- BLUETOOTH機能と同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- スマートフォンの電池残量低下により、Wi-Fi通信の状態が不安定になることがあります。
- Wi-Fiエリア内から出た場合は、通信が切断されます。
- 使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますので、ご注意ください。
- 通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fiの規格とセキュリティ方式について

対応規格
IEEE 802.11b/g/n (2.4 GHzのみ)

対応セキュリティ方式
OPEN
WPA 2™ - Personal
WPA 3™ - Personal

ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートに登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことです。

自転車位置測位の仕組み

本機では、GPS衛星に加え「みちびき」の電波を受信して、自転車の位置を測位します。

■ GPS (Global Positioning System)

アメリカ国防総省が配備を進めた人工衛星を利用した位置検出システムです。高度 21 000 km の宇宙にある3つ以上の人工衛星からの電波を受信し、三角測量の原理を利用して測位を行います。

■ 現在地を測位するまでの時間

本機を最初にご使用になるときや、長時間で使用にならなかったときは、自転車の現在地を測位するまでに、5分程度かかります。また、通常は見晴らしの良い場所 (GPS衛星の電波をさえぎる建物や樹木のない場所) で、2分程度で測位します。

電源を入れてすぐに走行すると測位するまでの時間が長くなるため、見晴らしの良い場所で測位ができるまで停車していることをおすすめします。

■ GPS信号を受信しにくい場所

次のような場所では受信できないことがあります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- 樹木の間

■ 準天頂衛星システム「みちびき」

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システムです。GPSを補い、より高精度で安定した測位を行います。

■ マップマッチング

GPSやジャイロなどによる測位には誤差があるため、現在地が道路以外の場所になる場合があります。マップマッチングは、誤差を補正して地図データ上の道路に自転車マークを表示させる機能です。



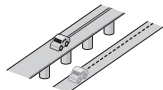
走行中の道路を誤って認識したとき (道路切換)

高速道路と一般道路が近くにある場合、自転車マークが実際と異なる道路に表示されることがあります。その場合は、道路切り換えを行うと自転車位置を修正できることがあります。

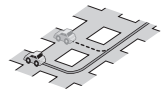
自車位置精度について

■ 走行環境やGPS衛星の状態により、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

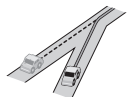
- 高速道路と一般道路が近くにある



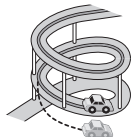
- 碁盤目状の道路を走行している



- 角度の小さなY字路を走行している



- らせん状の道路などを走行している



そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して自車マーク位置は自動的に補正されます。

■ 下記の場合も、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- エンジンスイッチON(電源ON)後、GPS信号を受信できるまで
- 本機を取り付けて初めて走行するとき
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤを使用時
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと
- 勾配の急な山岳などを走行しているとき
- 直線路を長い間走行したあとに、右左折したとき
- 道幅の広い道路で蛇行運転したとき

- 雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、またはタイヤチェーン等を装着して走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場で、らせん状の道路を走行したあと一般道に出たとき
- エンジンスイッチOFF(電源OFF)状態で、ターンテーブルなどで旋回したとき
- (車種によっては、低速(数km/h)で走行時に車速信号を検出できないことがあるため)駐車するときや渋滞区間を走行中など、低速での走行状態が続くとき

■ GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自車マークがずれる場合があります。

■ 3Dセンサーによる高架判定について

自車が都市高速に入ったときなど車の上下移動を3Dセンサーで感知して、自車位置を測位します。(高架判定)

- 3Dセンサーによる高架判定は、センサーの補正が完了後に動作可能です。車両信号情報画面で「3D」の学習レベルの状態を確認してください。
- 高速道路など一定速度で走行が続くような場合、補正完了まで50 km程度の走行を要する場合があります。
- 道路状況や走行状況により正しく高架判定できない場合があります。(道路の傾斜がゆるやか、発進・停車の繰り返し、急ハンドルによる車の横揺れなど)
- 下記の場合には、必ず車両信号情報画面でセンサー学習値初期化を選んでください。
 - ・別の車に載せかえた
 - ・取付位置を変更した
- 3Dセンサーの高架判定は、地図データと3Dセンサーからの情報で行います。(一部地域のみ)

逆走検知警告について

■ 下記のような場合は、逆走していても警告案内を行わないことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
- スマートICのあるSA・PA、その他特定のSA・PA内を走行しているとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- GPSアンテナ上に障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき
- トンネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 直前に自車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なUターンをしたとき
- 周囲に分岐車線・合流車線の無い本線上でUターンしたとき
- 以前、逆走検知警告が表示された地点で「ここでは案内しない」のチェックボックスをONにしていた場合

■ 下記のような場合は、逆走していなくても警告案内を行うことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- 駐車スペースがある料金所、または手前でUターン可能な料金所でUターンをしたとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

ルート探索・ルート案内について

探索されたルートは参考ルートであり、お客様の意図したものとは違う場合があります。

■ 次のような場合は、故障ではありません。

- 通行不可能な歩道、階段などを含めたルートを作ることがあります。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 点線で表示されている道路は、地図データ作成時点での建設予定道路のためルート探索できません。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートが変わらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。
- 交差点で曲がるのに、案内されない場合があります。
- 交差点名称が案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点等で曲がったときなどに音声案内される場合があります。
- 方面案内が表示/案内されない高速道路・有料道路があります。
- 交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。

電話番号検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報(ピンポイント情報)がないため、正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

名称・ジャンル・周辺施設検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号まで正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

マップコードとは

株式会社デンソーが、カーナビゲーションで簡単に目的地を設定できるようにするために開発した、日本全国のあらゆる場所を最大13桁の数字で表したものです。各種情報機器や各種情報メディアで簡単に位置情報を伝達したり、住所や電話番号で表せない場所を特定することができます。詳しくは、マップコード公式サイトをご参照ください。
<https://www.denso-communications.jp/mapcode/>

ETC2.0(電波ビーコン5.8 GHz)について

電波ビーコン5.8 GHzを受信するには、別売のETC2.0車載器が必要です。

■ 電波ビーコン5.8 GHzの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走
- 高速高架道路の下(高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコン5.8 GHzを受信してしまう場合があります。)
- 雪などの悪天候
- フロントガラスの汚れ

お知らせ

- 赤外線反射ガラスまたは電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコン5.8 GHzの受信ができないことがあります。
取り付けの際は販売店にご相談ください。

FM多重/光ビーコンについて

光ビーコンを受信するには、別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器が必要です。

■ FM多重放送の受信について

下記のような場所では受信できない場合があります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- サービスエリア外

お知らせ

- FM多重の場合、一定周期で情報が更新されるので表示するデータが揃うのに時間がかかる場合があります。(約3分)
- 車のエンジンをかけた(またはACCをONにした)あと、しばらくは情報が表示されません。

■ 光ビーコンの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 雪などの悪天候
- アンテナ受信部の汚れ
- フロントガラスの汚れ
- アンテナの上に物を置く
- 他の車両と並走して通信エリアに進入したとき
- 太陽光がアンテナ受光面に当たっているとき

お知らせ

- 赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンの受信ができないことがあります。取り付けの際は販売店にご相談ください。

VICSについて

- VICSの車載機の動作、その他に関するもの
- VICSのサービスエリアに関するもの
- その他、上記に類するもの

これらの内容は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理相談窓口」にお問い合わせください。

VICSやTSPSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。

(ただし、地図表示型の表示内容は除く)

VICSセンター

受付時間 9:30～17:45

(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

電話番号 0570-00-8831

● 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

● PHS、IP電話等からはご利用いただけません。

FAX番号 03-3562-1719(24時間受付)

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を持続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使います。

- (1) VICSサービス: 当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約: 当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者: 当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランブラー: FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス: 文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス: 簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス: 車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 330円(税込み)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

令和2年12月1日改訂

商標などについて

- Microsoft, Windows, Windows Media and .NET Framework are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ETC」、「ETC2.0」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ITS スポットは、国土交通省の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio、およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- 「DVD Logo」は、DVD フォーマットロゴライセンス株式会社の商標です。
- 「ゼンリン」および「ZENRIN」は、株式会社ゼンリンの登録商標です。
- 「タウンページ」は、日本電信電話株式会社の商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- Android は、Google LLC の商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Access® (WPA) はWi-Fi Alliance®の登録商標です。WPA2™、WPA3™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License 及び AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVCビデオ）を記録すること。
 - ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社(「パナソニック」)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2(「GPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(「LGPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL、LGPL以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下のGPLおよびLGPL所定の条件をご参照ください。

GPL : <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

LGPL : <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>

また、上記のGPL/LGPL ソフトに対応したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。

<http://car.panasonic.jp/oss/I03nf1x1>

■上記(5)に分類されるソフトウェアには、以下のウェブサイトに掲載のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

<http://car.panasonic.jp/oss/I03nf1x1>

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/license/index.html>

■Gracenoteについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.com をご覧ください。

- Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ: copyright © 2000 - present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000 - present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
- Gracenote、Gracenoteロゴとロゴタイプ、「Powered by Gracenote」ロゴは、米国およびその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。

仕様

	CN-HE02D/CN-HA02D	CN-HE02WD/CN-HA02WD
電源		
電源電圧	DC12 V (試験電圧 13.2 V) マイナスアース	
消費電流	2.5 A 以下 (AUDIO OFF 時)	
液晶ディスプレイ		
画面寸法 (幅×高さ×対角)	7 V 型ワイド 156 mm×80 mm×175 mm	
映像入力	RGB (ナビゲーション画面)	
画素数	2 764 800 画素 (縦 720×横 1 280×3)	
有効画素数	99.99 %	
表示方式	透過型カラーフィルター方式	
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリックス方式	
使用光源	内部光 (LED)	
タッチパネル	抵抗感圧式アナログタイプ(フィルム+ガラス)	
アンプ		
定格出力	18 W×4	
最大出力	45 W×4	
適合スピーカーインピーダンス	4 Ω (4 Ω～8 Ω 使用可能)	
接続端子		
カメラ入力レベル	映像：NTSC 1.0 Vp-p(75 Ω RCA ピンジャック)/HD-TVI	
ビデオ出力レベル	映像：NTSC 1.0 Vp-p(75 Ω RCA ピンジャック)	
ナビゲーションユニット		
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	178 mm×100 mm×184 mm (取付奥行き寸法 165 mm)	206 mm×104 mm×177 mm (取付奥行き寸法 161 mm)
質量	約 2.4 kg	約 2.5 kg
動作温度	-10 ℃～+60 ℃	
DVD プレーヤー		
信号方式	Y=1.0 Vp-p Cb=Cr=0.7 Vp-p (内部) NTSC 方式 1.0 Vp-p (出力)	
周波数特性	5 Hz～22 kHz(サンプリング周波数 48 kHz)	
ワウ・フラッター	測定限界以下	
FM チューナー		
受信周波数	76.0 MHz～95.0 MHz	
実用感度(SN比、30 dB)	15 dBμV 以下	
SN比(入力 54 dBμV)	50 dB 以上	
ステレオ分離度(入力 60 dBμV)	35 dB	

AM チューナー	
受信周波数	522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度 (SN 比、20 dB)	37 dB μ V 以下
地上デジタル TV チューナー	
受信可能放送	地上デジタル放送 (ワンセグ対応)
受信周波数	470 MHz ~ 710 MHz (13 CH ~ 52 CH)
入力信号レベル	-75 dBm ~ -20 dBm
入力インピーダンス	50 Ω
iPod/USB 中継ケーブル接続端子	
通信方式	USB
出力電圧	5 V 2 400 mA
BLUETOOTH	
対応規格	Bluetooth Ver.5.2
パワークラス	Class 2
対応プロファイル	HFP/A2DP/AVRCP/PBAP/SPP
対応コーデック	SBC、AAC
Wi-Fi	
対応規格	IEEE 802.11b/g/n(2.4 GHz のみ)
対応チャンネル	1 CH ~ 13 CH
出力	最大 +14 dBm
対応セキュリティ方式	OPEN/WPA2-Personal/WPA3-Personal
GPS アンテナ	
形式	マイクロストリップ方式
コードの長さ	4 m
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	26 mm × 14 mm × 30 mm
質量	約 50 g (コード含む)
受信周波数	1 575.42 MHz (C/A コード)
受信可能衛星	GPS、QZSS (準天頂衛星)
地上デジタルアンテナ	
コードの長さ	4 m
外形寸法 (幅 × 高さ)	118 mm × 81 mm
質量	約 170 g (コード含む)
出力インピーダンス	50 Ω

●画面サイズのV型 (7 V型等) は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

- 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 寸法・質量はおおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

まず、お買い上げの販売店へご相談ください

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理をされるときは

「困ったとき」(P.67)でご確認のあと、
なならないときは、まず電源を切り、お買い
上げ日と右の内容を販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

製 品 名	カーナビステーション
品 番	お買い上げ製品の品番に チェックしてください。 ☐ CN-HE02D ☐ CN-HE02WD ☐ CN-HA02D ☐ CN-HA02WD
故障の状況	できるだけ具体的に

■ 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、
おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により有償にて修理させて
いただきます。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後
6年保有しています。

転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

■ 使いかた・お手入れなどのご相談は…

「パナソニック お客様ご相談センター」へ→裏表紙

■ 修理に関するご相談は…

お近くの「修理相談窓口」へ →P.95

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人
情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、
第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました
窓口にご連絡ください。

個人情報保護方針の詳細については Web サイトをご覧ください。

<https://automotive.panasonic.com/privacy-policy>

? 使いかた・お手入れなどのご相談窓口

お客様ご相談センター

電話  フリーダイヤル コー パナソニック
0120-50-8729
 ■上記番号がご利用いただけない場合
045-929-0511 (有料)
 受付時間 9:00～17:00
 年中無休 (当社指定休日を除く)

FAX (有料) **045-938-1573**
 受付時間 9:00～17:00
 (土・日・祝日・当社指定休日を除く)

よくあるご質問 (FAQ)
 メールでのお問い合わせ
panasonic.jp/car/navi/faq 

 修理に関するご相談窓口

修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、またはお近くの「修理相談窓口」(P.95) へご連絡ください。

修理相談窓口サイト

<https://panasonic.jp/car/customer/repair/index.html>

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります。)
- 回線が混雑しているときは、呼び出し中に切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更することがあります。

おぼえのため、記入されると便利です。

製造番号 (Serial No.)	万一の故障や盗難時に必要です。同梱の保証書、もしくはナビゲーションユニットの天面にある製品銘板で、9桁の番号をご確認ください。 ()
固有番号 (車載器ID)	製造番号が不明な場合(盗難時など)の確認用として、必要な場合があります。「バージョン情報」(P.55)で、番号をご確認ください。 ()

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

© Panasonic Automotive Systems Co., Ltd. 2022